



予算委員会にて質問



尖閣諸島を洋上視察

この国を 守ります。



お年寄りのために。
子ども達のために。
暮らしと安心のために。
豊かな経済のために。
日本の領土のために。

本格政権による 日本建て直しを!

前衆議院議員 新藤義孝

この三年間、民主党政権は国民に何を提供してきたのでしょうか?

経済回復の見通しは立たず、東北の復興の遅れは目を覆うばかりです。原発事故後のエネルギー政策の迷走は巨額の貿易赤字となって国民経済を苦しめています。教育や福祉政策は二転三転しながら未だに方向が確定していません。

領土・主権問題が危機的状況に。

・7月3日、ロシアのメドベージェフ首相が国後島に不法上陸
・8月10日、韓国の李明博大統領が竹島に不法上陸
・8月15日の終戦記念日に香港の活動家が尖閣諸島・魚釣島に不法上陸

尖閣諸島海域での中国によるかつてない攻勢は、民主党政権の稚拙な外交の結果です。日本をこれほど危機に陥れた責任は重大です。

民主党政権が破綻していることは政策予算の面からも明らかです。

絵に描いた餅のマニフェストは見通しが甘かったというよりサギだったと言わざるを得ません。

予算の面では際限のない膨張に歯止めがかりません。自民政権時代の総予算(一般会計十特別会計)は207兆円でしたが、H24年度は228兆円、3年で21兆円も膨らんでいます。一方でGDPは自民党政権時代が51.3兆円であるのに対して、現在は47.0兆円。予算を増やしたのにGDPは減

少しているのです。

日本の国家予算編成で公債発行が税収を上回ったことは、明治10年の西南戦争時と昭和20年の敗戦時の2回しかありませんでした。しかし、民主党政権になってからは何と3年連続で公債発行額が税収を上回っています。

政策の不履行と予算編成の破綻。当事者能力が欠如した民主党政権の恐ろしさがお分かりいただけると思います。

まずはデフレと円高を脱却。経済の底上げを図らなければなりません。

大型の景気対策予算を組み、防災や景気刺激のために公共投資を行い、有効需要を作り出していきます。

また新しい成長の柱として、海洋・環境・科学技術などの分野でニューフロンティアに果敢に挑戦していくことも必要です。

特に我が国の排他的経済水域(EZ)の海底には天然ガス100年分のメタンハイドレートや230年分のレアアースがあることが分かっています。これらを世界に先駆け開発・商業化できれば、我が国は資源小国から海洋資源大国となるのです。

私を取り組んできたG空間社会の構築も成長には欠かせません。日本版GPSである準天頂衛星システムが機能すれば、「津波が来たとき個人の携帯にいち早く正確な予測情報を送信して避難地まで誘導する」ということができるようになります。

す。これにより安全・安心・便利な社会をつくることはもとより、新産業創出による経済効果もはかり知れません。

この他、原発の扱いを含む持続可能なエネルギー戦略の構築、水素還元技術の開発、iPS細胞による再生医療の実用化など、経済成長の新しい柱となるべき取り組みを日本はたくさん持っています。

未来を拓く国家プロジェクト。これらに重点投資を行っていかねればなりません。

やっと衆議院が解散されました。国民の信を失った民主党政権がこれ以上国政運営を続けることは許されません。

3年前の総選挙以来、私は深く反省し、自民党のどこを直し、何を残すべきか、基本理念から見つめなおしてきました。そして再び国民・有権者から期待と信頼を得られるよう、準備をいたしました。今こそ自民党は国のため世のために政策力と実務能力を発揮しなければなりません。

今回の選挙は「日本を取り戻す」ための選挙です。

私は自分の役割を果たし、微力を尽くしたいと決心しています。これまでの激励を糧として、練り上げた政策と培った経験を活かしてまいりたいと思います。皆さんと力を合わせ、日本の新しい朝を迎えるためにがんばります。